

今回のコラムは、スクーリング後や休み時間に質問を受けることが多い

「今度パソコン買おうと思うんだけど、何を買ったらいいの？」ということに関する内容です。わかりやすさを重視するため、かなり「ざっくりした答え」で書いた初心者向けのコラムです。最新の3Dゲームを快適に動かす超高性能パソコンを検討している方は対象外のお話ですのでご了承ください。

1. パソコンの性能選び

まず、パソコンを買う場合に性能の指標となる主な部品には、以下のものがあります。

部品	内容
CPU	コンピュータの頭脳。起動の速さ、アプリの動作の速さなどに大きく影響。価格と性能は比例。（*製品名等は桃谷公式サイトで紹介できないので、詳しい話を聞きたい場合は昼間部の社会と情報担当者か、昼・日夜部の情報の科学の担当者に質問してください）
メモリ	容量4GB以上のものが多く、多い方が良い。動画・イラスト制作をメインにする場合は8GB以上あると快適。2GBなどの容量が少ないパソコンは動作が遅くなる。
ストレージ (データ保存場所)	主に、HDDとSSDがある。HDDは安価で大容量（たくさんデータを保存できる）。SSDは容量が少ないが高速作動のためアプリ起動時の時間も短く快適。
ドライブ	DVD等が入ると便利。安価なパソコンはブルーレイ非対応が多いが、パソコンでブルーレイ映像を見る機会がなければなくても今のところ問題なし。

では、上の4つの部品だけを見て買うといいか、というとそうでもありません。性能以外にも、画面の色合いやキーボードのタッチの感触など、自分に合うか合わないかといったフィーリングの部分もありますので、お店などで実際に現物を見たり触れたりした方がいいと私は思います。

2. パソコンメーカー選び

家電量販店（電気屋さん）に行くとたくさんのメーカーのパソコンが並んでいます。迷いますよね。よくわからなくて店員さんに質問すると、あれよあれよという間に高額なパソコンの前に誘導され、結局、手に持て余すほどの高性能パソコンを買うことに・・・なんてこともよくあります。賢い買い物をするためにも、事前にしっかり勉強しましょう。

次のページでは、パソコンメーカーによって何が違うのかという話を大まかに説明します。

・国内有名メーカーのパソコン

日本で有名なパソコンメーカーにN社やF社等がありますが（ここではこれ以上の具体的なメーカー名は出せません。ごめんなさい。）、購入後のサポートが厚く、また、購入時から初心者向けのアプリが大量に入っていることが多いです。価格は海外メーカーより割高です。

・海外有名メーカーや国内中小メーカーのパソコン

家電量販店には、台湾や中国をはじめとした海外メーカーのパソコンもあります。製造技術は国内有名メーカーと遜色なく、国内有名メーカーに比べて低価格で壊れやすさ等も日本メーカーとほぼ同じと置いていいでしょう。ただ、5万円前後の安価なパソコンはキーボードやマウスが安っぽい質感のものがあります。アプリは必要最低限のものが入っていることが多いです。

3. ワードやエクセルって初めから入っていないの？

結論から言うと、国内外のメーカーを問わず、入っていないものもありますし、入っているものもあります。入っていないものを買った場合、ワードやエクセルを使いたい場合は別途購入が必要です。学割制度があるので学生の皆さんは安く買うことができますが、それでも数万円します（聴講生は学割対象外です）。あと、ワードやエクセルに似たソフトが数千円で売られているので、そういったソフトを別途購入する方法もあります。

4. 中古品や展示処分品ってどうなの？

個人的には、パソコンの機械的な取り扱いに慣れた人以外にはおすすりめしません。理由は、中古品の場合は前に使っていた人がどのような使い方をしていたかわからないからです（乱雑に扱う人もいます）。展示処分品の場合でも約半年間、毎日10時間程度電源が入っており、お店で乱雑に扱われている可能性もあります。お店は家庭に比べてかなりホコリが舞うので、機器がホコリを吸い込んで傷んでいることもあります。

パソコンは一般的な家電製品より寿命が短く、消耗品といっても過言ではありません。特段の理由がなければ新品を購入することをおすすりめします。